「地域バスのための無線の利活用に関する調査検討会」の検討概要(1)



調査検討会では

高知工科大学の「Chi Bus」の開発・検討を基礎として、 地域のニーズに合ったシステムの検討

地域バスに必要な機能を検討

例 バスの到着、出発のみ表示するシステム 付加機能として、

バスの到着時間も表示できるシステム等

大規模なセンター集中方式を必要としないシステム (低コストで構築できるシステム)

各バス停に必要な機能を持たせたシステム

一部バス停の機能が故障しても他は利用可能

通信コストが不要なシステム

デジタル簡易無線等の自営無線通信を活用

比較的簡単な維持管理で運用可能なシステム 電子タグ等汎用品を利活用

検討項目

機能1

電子タグを利活用したバス到着、出発を表示するためのシステム検討 (電子タグによるバスとバス停間の通信の検討)

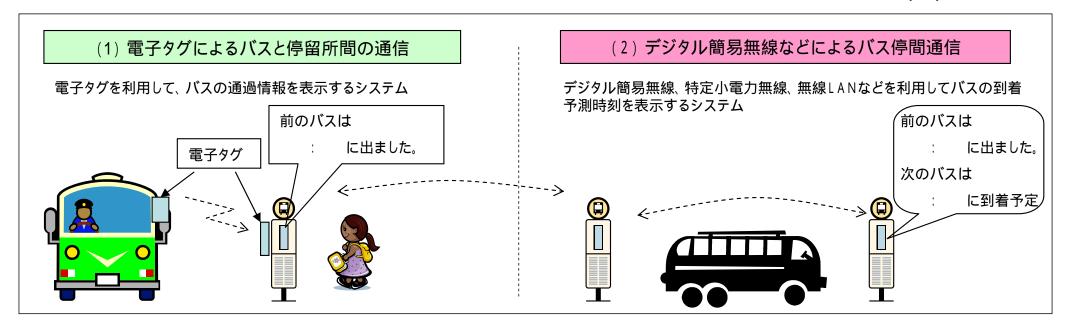
機能2

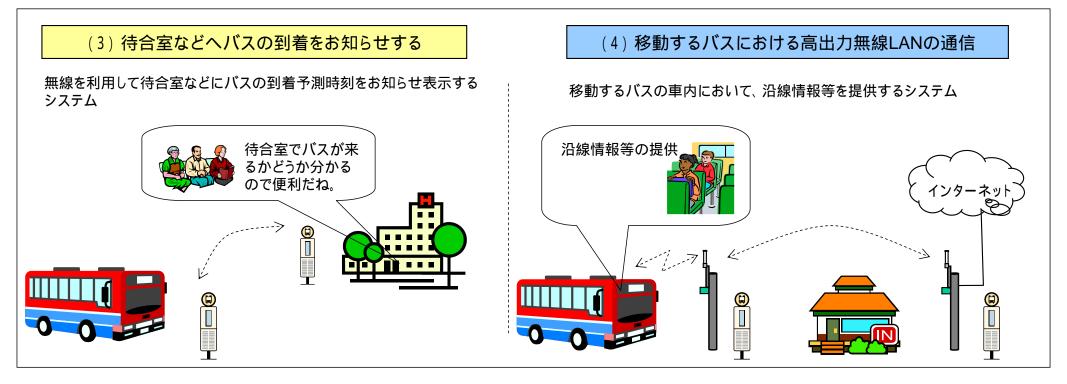
デジタル簡易無線等を利活用したバスの到着時刻等の表示のためのシステム検討 (デジタル簡易無線、特定小電力無線、無線LANによるバス停間通信の検討)

機能3

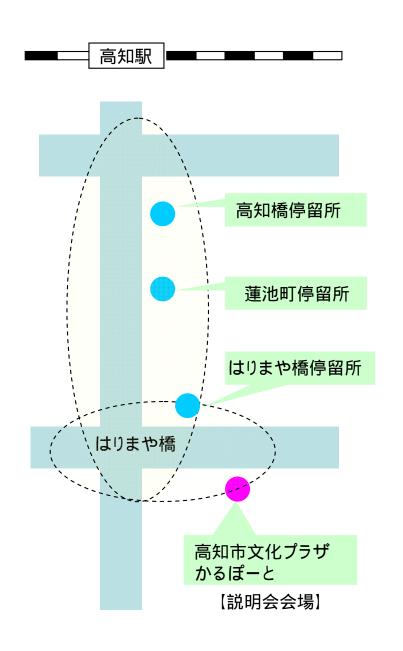
無線を利活用したバス停以外への情報提供システム検討 (無線LAN等のネットワークを利活用したシステムの高度化の検討)

「地域バスのための無線の利活用に関する調査検討会」の検討概要(2)





公開試験は、平成20年12月18日(水)13時から高知市はりまや橋付近で実施しました。





停留所表示機(待合室)

電子タグ



高知橋停留所



蓮池町停留所

停留所表示器



はりまや橋停留所



はりまや橋停留所(通路(待合室))